

LAN & USB 2.0 HARD DISK UNIT ユーザーズガイド

LHD-LU2シリーズ

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 使用方法等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を接続した環境で、データがハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

目 次

ロジテックソフトウェア使用権許諾契約書	4
製品の概要	6
使用環境について	8
LANで接続する場合 - Windows 編 -	9
1. 接続の際の注意	9
2. ソフトウェアの使い方	10
2.1 インストール	10
2.2 パソコンからアクセスする	12
2.3 基本的な機能について	17
2.3.1 接続状態とポップアップメニュー	17
2.3.2 アクセス権限の変更	19
2.3.3 ネットワーク接続の解除/再接続について	21
2.3.4 登録情報の削除	23
2.3.5 補足事項	24
2.4 高度な設定について	26
2.4.1 設定の前に	27
2.4.2 設定手順	29
2.4.3 設定の解除	34
2.4.4 ディスクに障害が発生した場合	36
2.4.5 ソフトウェアのアンインストール	37
LANで接続する場合 - Macintosh 編 -	38
1. 接続の際の注意	38
2. ソフトウェア使い方	39
2.1 インストール	39
2.2 コンピュータからアクセスする	42
2.3 接続の解除について	44
2.4 「LHD-LU2 管理ツール」の機能について	45

USBで接続する場合	47
1 接続の際の注意	47
2 USB 接続時の取り外しについて	48
フォーマットについて	50
1 . Windows XP、2000 の場合	50
2 . Mac OS X の場合	51
トラブルシューティング	52
1 共通	52
2 LAN 接続の際のトラブル	54
オプション品について	59
修理依頼書	60

ロジテックソフトウェア使用権許諾契約書

本契約は弊社とお客様との間で締結されるものです。本契約書をよくお読みの上、本契約書にご同意いただいた場合には、お手数ですが本製品添付のユーザー登録カード（保証書と一体で添付されているもの）に必要事項をご記入の上、ご返送いただきますようお願いいたします。

本契約に関して疑義がある場合、もしくは弊社にご連絡を取りたい場合は、以下にご連絡ください。

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原8268 ロジテック株式会社 テクニカルサポート

1．使用許諾

- (1) 弊社は、添付ソフトウェアプログラム（以下「本ソフトウェア」といいます）を、本ソフトウェアとともに提供されるハードウェア（本ソフトウェアがキットに添付される場合にはキットが組み合わされるハードウェア）において使用できる使用権をお客様に許諾します。
- (2) お客様は、本ソフトウェアを同時に一台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。ネットワークシステムの場合は、一時に一台の端末でのみ使用することができます。

2．著作権

- (1) お客様は本ソフトウェアをその他の著作物と同様に取り扱っていただく必要があります。ただし、バックアップ目的にのみ本ソフトウェアを複製すること、またはオリジナルを保存用のみに保持して本ソフトウェアをハードディスクに組み込むことができます。
- (2) お客様は、本ソフトウェアとともに提供された取扱説明書等の印刷物を複製しないものとします。

3．規制

- (1) お客様は、本ソフトウェアを貸与したり、リースに供することはできないものとします。ただし、お客様は本ソフトウェアとその関連資料の複製物を保有していないこと、および受領者が本契約の条件に合意していることを前提に、本ソフトウェアおよびその関連印刷物を第三者に譲渡することができます。その場合、お客様は本ソフトウェアとともに提供されたハードウェアを同時に当該第三者に譲渡するものとします。

- (2) お客様は、本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルもしくは逆アセンブルをしてはならないものとします。
- (3) お客様は、本ソフトウェアのコピーを分配したり、ネットワークシステム内の1台の端末から他へ電送してはならないものとします。

4．保証

弊社は本ソフトウェアに関して以下の保証のみを行いません。なお、この保証は日本国内のみにて有効なものとします。

- (1) お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から1年以内に弊社が本ソフトウェアの誤りの修正を行なったときは、弊社はその修正内容をお客様に提供するものとします。ただし、弊社がその裁量により情報の提供を決定した場合に限りです。
- (2) 本ソフトウェアの記録媒体に、本ソフトウェアの使用に支障を来たすような物理的欠陥があった場合には、お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から30日以内にご連絡をいただければ、弊社は当該記録媒体を無償で交換（ただし、弊社が当該欠陥を弊社の責任によるものと認めた場合に限りです。）するものとします。これをもって記録媒体に関して弊社が行なう唯一の保証とします。

5．免責

- (1) 弊社は、本ソフトウェアを使用した結果に関していかなる保証も行いません。本ソフトウェアに関して発生する問題は、お客様の責任及び費用負担によって処理されるものとします。
- (2) 弊社は、本ソフトウェアおよびその関連印刷物および本ソフトウェアとともに提供されたハードウェアに関して、商業的に有用であること、特定の目的に適合すること等に関し、明示的にも黙示的にも一切の保証をしないものとします。
- (3) いかなる場合であっても弊社は、お客様が本ソフトウェアを使用することにより生じる商業的利益の逸失、商業の支障その他のいかなる損害について、たとえかかる損害が生じる可能性があることにつき通知を受けていた場合であっても一切の責任を負わないものとします。

6．その他

- (1) 弊社は、ユーザー登録カードにより登録をいただけないお客様に対しては、バージョンアップサービスその他のサポートサービスを行なう義務を負いません。
- (2) 本契約に関する紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

製品の概要

本製品は Ethernet 接続でネットワークに接続して使うことのできるハードディスクユニットです。ネットワークに接続した場合は、複数のパソコンでデータを共有することができます。また、USB コネクタも搭載していますので、パソコンに直接つないで使うこともできます。

本製品の特徴

ネットワークに接続してご使用になる場合、入力するアクセスキー/ライトキーにより接続するユーザーごとに読み取り専用、書き込み可能の権限を設定することができます。

ネットワーク接続時は専用のソフトウェアを使用して機器を検出するので、IP アドレス等の面倒な設定は必要ありません。

Windows 環境の場合、複数の LHD-LU2 シリーズを同一ネットワーク内に接続した場合、2 台の LHD-LU2 シリーズを 1 つのボリュームとして使用するアグリゲーション機能や、片方のハードディスクからもう片方のハードディスクへデータのコピーを行なうミラーリング機能を使用することができます。

ただし、ミラーリング機能を使用する場合、コピー元となるディスク（マスターディスク）より、コピー先のディスク（スレーブとなるディスク）のほうが容量が大きくなってはいけません。

出荷時に NTFS にてフォーマット済みですので、Windows 環境でご使用の場合は、接続後にご使用になれます。（Macintosh 環境では機器の再フォーマットが必要です）

USB 2.0 ポートを使用してパソコンに直接接続することもできます。パソコン側の USB インターフェースが、USB 2.0 に対応していれば、USB 2.0 High-Speed の高速転送（480Mbps：理論値）を実現することが可能です。また従来の USB 1.1 ポートにも接続できます。

USB 接続の場合、ホットプラグ（パソコン本体の電源が ON になっている状態での取り付け・取り外し）が可能です。

美しさ、強さ、放熱性を兼ね備えた一体型アルミボディを採用しています。放熱性能の向上により、安定したパフォーマンスを実現しています。



重要なご注意

- ・ LAN 接続でご使用になる場合、本製品をハブ等中継機器に接続するだけでは、ご使用になれません。本製品にアクセスを行ないたいパソコンへ付属の CD-ROM より専用のソフトウェアをインストールしてください。詳しくは「ソフトウェアのインストール」をご参照ください。
 - ・ Windows 環境と Macintosh 環境では、使用するフォーマット形式が異なるため、同一製品へのアクセスを行うことができません。
 - ・ 本製品は、LAN コネクタと USB コネクタの両方へ同時に接続してご使用になることはできません。
 - ・ 本製品を USB 2.0 ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0 対応ケーブルを使用してください。USB 1.1 用ケーブルで USB 2.0 ポートに接続して本製品を使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
 - ・ USB 1.1 ポートへ接続して使用する際もなるべく USB 2.0 対応ケーブルをご使用ください。
-



参考

アルミボディは熱の伝導性が高いため、本製品の動作中にボディ表面に触れると熱く感じる場合がありますが、これは異常ではありません。

ご注意

当社 DOS/V 対応製品は、OADG(*1)加盟メーカの DOS/V パソコンで確認を行っております。ただし、発売されている全ての DOS/V パソコンで動作確認を行うことは不可能です。そのため、一部に対応できない機種が存在致しますことをご承知おきください。また、自作パソコンやショップ製組み立てパソコンの場合、各種部品との相性などにより、本製品が正常に動作しない場合がございますことをご承知おきください。

(*1)OADG は「PC オープンアーキテクチャー推進協議会」の略です。

使用環境について

対応パソコン

本製品は、以下のパソコン本体に接続可能です。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ
アップルコンピュータ社	
iMac、	eMac、
Power Mac G5、	Power Mac G4、
Power Mac G4 Cube、	Power Macintosh G3 (Blue and White)
iBook G4、	iBook、
PowerBook G4、	PowerBook (FireWire)
PowerBook G3 (BronzeKeyboard)	

LAN経由で本製品にアクセスする場合はLANポートが、USB接続で本製品を使用する場合はUSBポートが、それぞれ搭載されている必要があります。また、USB接続時にUSB 2.0のHigh-Speedでの転送を実現するためにはパソコン側のインターフェースがUSB 2.0に対応していなければなりません(従来のUSB 1.1ポートに接続した場合は、USB Full-Speedで動作します)。

無線LAN環境にてお使いの場合、電波状態により装置がコンピュータ上から認識されなくなる場合があります。特にIEEE802.11bの環境下では、電波状態により上記現象が発生しやすい事が確認されていますので、無線LAN環境でお使い頂く場合には、IEEE802.11a及びIEEE802.11gでの使用を推奨します。また、IEEE802.11aやIEEE802.11gであっても、電波状態や設置環境により認識出来なくなることがあります。

ハブ (Hub) に接続する場合、100BASE-TX仕様のスイッチングハブであることが必要です。(ダムハブ、および10BASE-TのLANポートへの接続には未対応です)

パソコンのLANポート(100BASE-TXポート)への接続も可能です。なお、付属ドライバ/ツールのインストールが必要です。

対応 OS

本製品は以下のOSに対応しています。すべて日本語版OSのみに限定されます。また、パソコン本体が対応していないOSでは使用することができません。

Windows XP Home Edition / Professional
Windows 2000 Professional
Mac OS X 10.2.1 ~ 10.3.4 まで

本製品はWindows Me、98、Mac OS 9 等ではご使用になれません。Windows環境とMacintosh環境では、使用するフォーマット形式が異なるため、同一製品へのアクセスを行うことができません。

1 . 接続の際の注意

LAN接続でご使用の場合、ハブ経由でも、パソコンのLANポートに直接接続しても、本製品へのアクセスは可能です。

ハブに接続する場合

ハブに接続する場合は、付属のLANケーブル(ストレートタイプ)をご使用ください。

WindowsクライアントとMacintoshクライアントが本製品を共有して使用することはできません。Macintoshクライアントでご使用になる場合は、「LANで接続する場合 - Macintosh 編」をご参照ください。

パソコンのLANポートに直接接続する場合

パソコンのLANポートに直接接続してご使用になる場合は、**別途クロスタイプのLANケーブルが必要となります。**

パソコンのLANポートへ直接接続する場合は、「ミラーリング」「アグリゲーション」といった高度な設定を行うことはできません。

接続手順は製品に付属の「**クイックスタートガイド**」を参照してください。

パソコンのLANポートに直接接続する場合は、接続先がハブではなく、パソコンのLANポートとなります)

いずれの場合も、付属のCD-ROMよりソフトウェアをインストールしてからでないとパソコン側からアクセスすることはできません。「2 . ソフトウェアの使い方」をご参照ください。

2. ソフトウェアの使い方

2.1 インストール

インストールの前に

- ・ 事前に製品に付属の「**クイックスタートガイド**」を参照して本製品をハブ等の中継機器へ接続しておいてください。
- ・ ご使用のパソコンへは管理者権限をもつユーザー（「コンピュータの管理者」や「Administrator」等）としてログオンしておいてください。

インストール手順

付属の「LHD-LU2ソフトウェアパック」CD-ROMをパソコンにセットすると、自動的にセットアップランチャーが起動し、以下のウィンドウが表示されますので、「LHD-LU2」を選択して、「セットアップの起動」ボタンをクリックしてください。

- 1.LHD-LU2 を選択
- 2.「セットアップの起動」をクリック



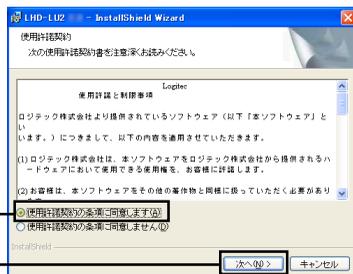
Point

ポイント

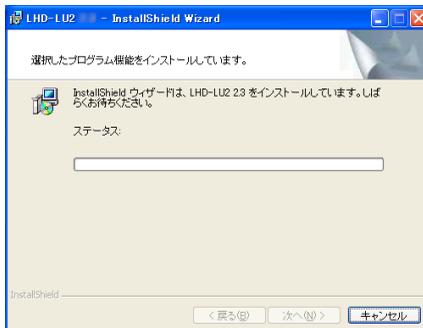
自動的に起動しない場合は、CD-ROM内の¥TOOL¥SETUP.EXE ファイルをダブルクリックしてください。

ソフトウェアの使用権許諾の画面が表示されます。「同意する」のラジオボタンを「ON」にして「次へ」ボタンをクリックしてください。

- 1.「同意する」を選択
- 2.「次へ」をクリック

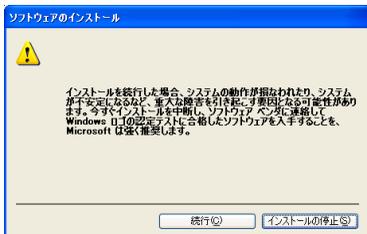


インストールが開始され、右のような画面が表示されます。この間は特に何もする必要はありません。



Point ポイント

- ・インストールの途中に、以下の画面が表示される場合がありますが、弊社では、本ソフトウェアの十分な動作を行い、Windows XP、2000 上で正常に動作することを確認して提供しております。Windows XP では「続行」ボタンを、Windows 2000 では、「はい」ボタンをクリックしてください。



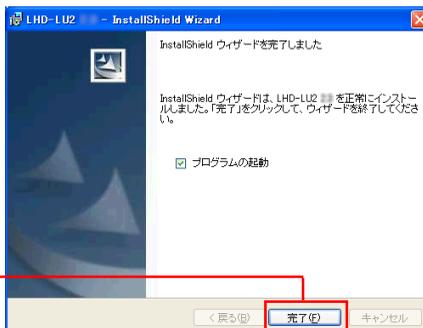
Windows XP で表示される画面



Windows 2000 で表示される画面

ここで「続行」ボタン、「はい」ボタンが表示されず、インストールが途中で終わってしまう場合は「トラブルシューティング」の「2 LAN 接続の際のトラブル」をご参照ください。

インストールが終了すると右の画面が表示されます。「完了」ボタンをクリックしてください。以上でインストールは完了です。



再起動を促すメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って再起動を行なってください。

2.2 パソコンからアクセスする

本製品にLAN経由でアクセスする場合、インストールしたソフトウェアを使用して以下の手順で本製品を登録します。(はじめにこの作業を行わなければ、本製品にアクセスすることができません)

Point

ポイント

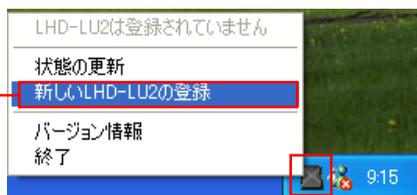
ご使用のパソコンへは管理者権限をもつユーザー(「コンピュータの管理者」や「Administrator」等)としてログオンしておいてください。

ソフトウェアインストール後、タスクトレイに常駐するLHD-LU2管理ツールアイコンをクリックして表示されるポップアップメニューから「新しいLHD-LU2の登録」をクリックしてください。



1. このアイコンをクリック

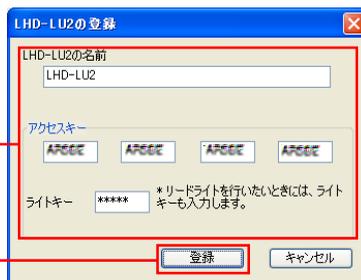
2. この項目をクリック



「LHD-LU2の登録」画面が表示されます。必要な情報を入力して「登録」ボタンをクリックしてください。

必要な情報を入力

「登録」をクリック



LHD-LU2の登録

LHD-LU2の名前
LHD-LU2

アクセスキー
AP88E AP88E AP88E AP88E

ライトキー ***** *リードライトを行いたいときには、ライトキーも入力します。

登録 キャンセル

入力項目の意味については次ページをご参照ください。

入力項目について

LHD-LU2 の名前

複数のLHD-EALU2シリーズがネットワークに接続されている場合に、名前を区別するために入力します。この部分は省略可能です。省略するとデフォルトで「LHD-LU2 - 1」という名前がつけます。

アクセスキー

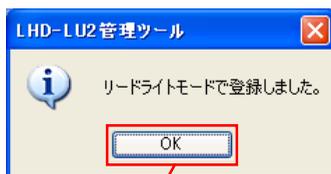
同梱のシールに記載されているアクセスキーを入力してください。アクセスキーは必ず入力しなければなりません。

ライトキー

同梱のシールに記載されているライトキーを入力してください。ライトキーを入力して「追加」ボタンをクリックすると、本製品へのアクセス権限は「リードライトモード」(読み込み/書き込み可能)に設定されます。

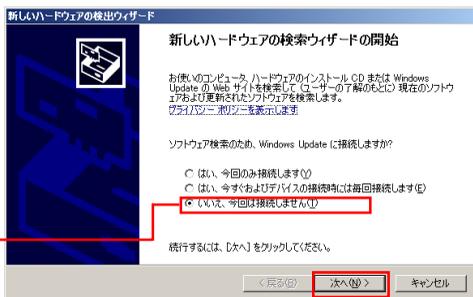
ライトキーを入力せずに「追加」ボタンをクリックすると、本製品へのアクセス権限は「リードオンリーモード」(読み込み専用)に設定されます。

登録完了のメッセージが表示されます。メッセージ画面内にアクセス権限が表示されるので、内容を確認後、「OK」ボタンをクリックしてください。



「OK」をクリック

Windows XP Service Pack 2以降をご使用で、以下のメッセージが表示された場合、「いいえ、今回は接続しません」のラジオボタンを「ON ()」にして、「次へ」ボタンをクリックしてください。

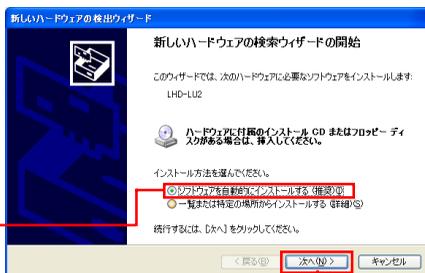


1. この項目を選択

2. 「次へ」をクリック

新しいハードウェアの検索ウィザードが起動します。「ソフトウェアを自動的にインストールする」のラジオボタンを「ON()」にして、「次へ」ボタンをクリックしてください。

1. この項目を選択



2. 「次へ」をクリック



参考

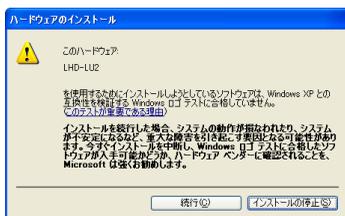
本製品を登録後に削除した場合、再度ネットワークに接続し、登録を行なうと、上のウィザードが起動しない場合があります。その場合は手順 へお進みください。

ソフトウェアの検索が行なわれ、検索中は右の画面が表示されます。この間ユーザーは特に作業をする必要はありません。



ポイント

- 再度以下の画面が表示される場合があります。Windows XP では「続行」ボタンを、Windows 2000 では、「はい」ボタンをクリックしてください。



Windows XP で表示される画面



Windows 2000 で表示される画面

インストールが終了すると右の画面が表示されます。「完了」ボタンをクリックしてください。



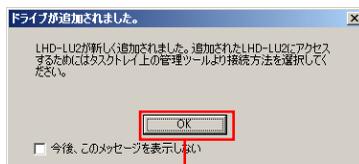
「完了」をクリック

右のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



「OK」をクリック

右のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。
これで、本製品の登録は完了です。
複数の LHD-LU2 シリーズを登録する場合はこの手順を繰り返してください。



「OK」をクリック

登録完了後、マイコンピュータを開くと新しいボリュームが登録されます。本製品や、ネットワークに追加・登録した LHD-LU2 シリーズへのアクセスはこのボリュームのアイコンをクリックして行ないます。



ボリューム(D:)



ボリューム
(D:)

Windows XP で表示されるアイコン Windows 2000 で表示されるアイコン

ボリュームに付けられるドライブ名は、ご使用の環境により異なります。



参考

本製品は出荷時に NTFS にてフォーマットされていますので、接続後そのままご使用になることができます。本製品を再フォーマットしてご使用になりたい場合は、「フォーマットについて」をご参照ください。

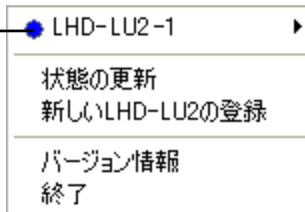


参考

登録後は、タスクトレイのLHD-LU2管理ツールアイコン  をクリックして表示されるポップアップメニューの上の段に「LHD-LU2の名前」で登録した名前が表示されるようになります。

この部分に登録した名前が表示されます。

登録された名前の横の印の色でアクセス権限を確認することができます。詳しくは次の「2.3 基本的な機能について」をご参照ください。

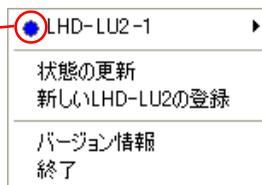


2.3 基本的な機能について

2.3.1 接続状態とポップアップメニュー

ネットワークに接続し、パソコンからの登録が終わると、設定した権限で本製品にアクセスが可能となります。アクセス権限や接続状態はタスクトレイのLHD-LU2管理ツールのアイコン  をクリックして表示されるポップアップメニュー内に登録された本製品の名前の横の印の色で確認することができます。

この印の色で確認します。

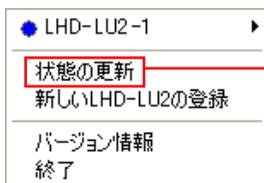


色	説明
青色	アクセス権限がリードライトモードに設定されています。
緑色	アクセス権限がリードオンリーモードに設定されています。
赤色	弊社製以外のハードディスクです(使用できません)。
灰色	ネットワークには接続されていますが、パソコンからアンプラグ(取り外し)された状態です。
白	別のユーザーが使用中です。
黒	ネットワークに接続されていないか、ディスクに障害があります。
黄色	アグリゲーションまたはミラーリングでスレーブのディスクに設定されています。

この場合は、アグリゲーションやミラーリングのターゲットディスクとして使用することはできません。

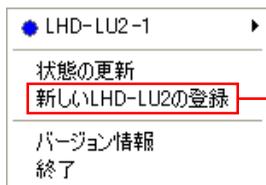
他の項目について

状態の更新

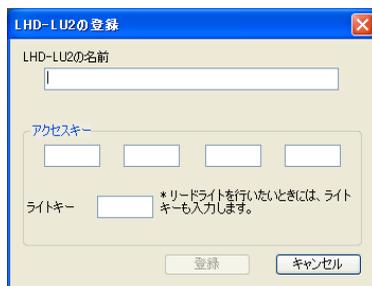


・この項目を選択してクリックすると、ネットワーク上にある登録済みのLHD-LU2シリーズの接続状態を最新のものに更新します。
 名前の横の印が黒色で表示されている場合は、LANケーブルか電源コードが接続されていません。黒色で表示されているものがあると、他に登録されているLHD-LU2シリーズへのアクセスが遅くなる恐れがありますので、いったん取り外し、再度登録することをお勧めします。

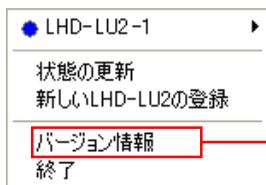
新しいLHD-LU2の登録



- ・新しくLHD-LU2シリーズをネットワークに登録する場合、この項目を選択してクリックします。「LHD-LU2の登録」画面が表示されます。「2.2 パソコンからアクセスする」を参照して、登録を行なってください。



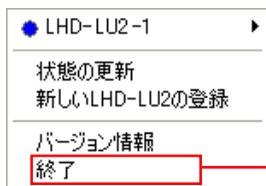
バージョン情報



- ・この項目を選択してクリックすると、インストールしたLHD-LU2管理ツールのバージョンを確認することができます。



終了



- ・LHD-LU2管理ツールを終了する場合は、この項目を選択してクリックします。確認のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。
ただし、LHD-LU2管理ツールを終了すると、ネットワーク上に接続されている登録済みの全てのLHD-LU2シリーズとの接続が解除されます。個別に接続の解除を行ないたい場合は「2.3.3 ネットワーク接続の解除/再接続について」をご参照ください。
「終了」を使用せずにポップアップを閉じるには、キーボード上から「Esc」キーを押してください。

LHD-LU2管理ツールを再度タスクトレイに常駐させる場合は、インストール時にデスクトップに作成された右のショートカットアイコンをダブルクリックしてください。



2.3.2 アクセス権限の変更

アクセス権限を変更する場合は、LHD-LU2管理ツールのポップアップメニューから、権限を変更したい機器を選択して、「リードライト接続」または、「リードオンリー接続」を選択してください。



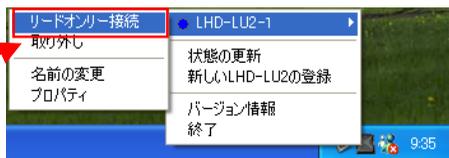
ご注意

書込みを行わない場合、リードオンリーモードに設定してお使いください。

「リードライトモード」から「リードオンリーモード」に変更する場合

LHD-LU2管理ツールのポップアップメニューから「リードライトモード」に設定済みの機器を選択すると下左のようなサブメニューが展開されます。ここで「リードオンリー接続」を選択すると、アクセス権限が「リードライトモード」から「リードオンリーモード」に変更されます。

権限を変更する機器を選択し、リードオンリー接続を選択します。



2. 「リードオンリー接続」を選択

変更後は登録名の横の印の色が、「青色」から「緑色」に変わります。

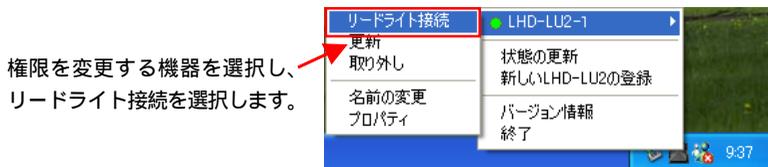
Point

ポイント

アクセス権限の変更には数分かかる場合があります。しばらくたって、色が変わらない場合は、再度試みてください。

「リードオンリーモード」から「リードライトモード」に変更する場合

LHD-LU2管理ツールのポップアップメニューから「リードオンリーモード」に設定済みのLHD-LU2シリーズを選択すると下左のようなサブメニューが展開されます。ここで「リードライト接続」を選択してください。



権限を変更する機器を選択し、リードライト接続を選択します。

登録した時にライトキーを入力していない場合は、右の画面が表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。表示されない場合は手順へお進みください。



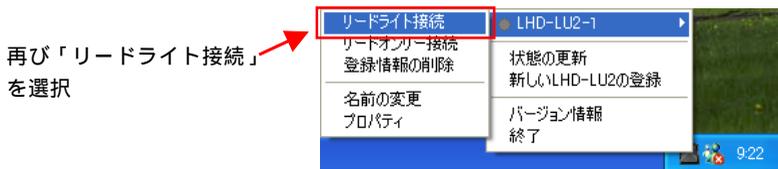
「名前の変更」画面が表示されます。ライトキーを入力して「OK」ボタンをクリックしてください。

1. ライトキーを入力

2. 「OK」をクリック



変更を行なったLHD-LU2シリーズの横の印の色が灰色になります。ここで、再度「リードライト接続」を選択してください。



再び「リードライト接続」を選択

接続後は登録名の横の印の色が、「緑色」から「青色」に変わります。

Point

ポイント

アクセス権限の変更には数分かかる場合があります。しばらくたっても、色が変わらない場合は、再度試みてください。

2.3.3 ネットワーク接続の解除/再接続について

ここでは本製品に接続しているコンピュータからネットワーク接続を解除する方法と、再接続の手順についてご説明いたします。接続の解除を行なう場合は、本製品および本製品内に保存されたデータファイルにアクセスしていないことを確認してください。

ネットワーク接続の解除について

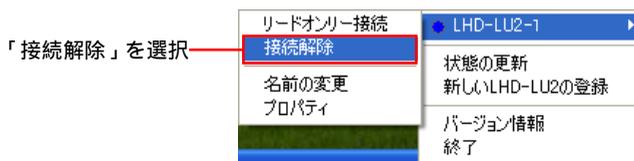


ご注意

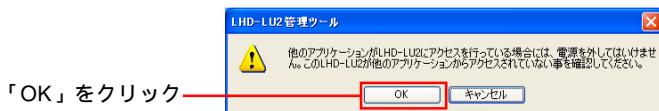
- ・正しい手順で接続の解除を行なわないと、他のユーザーがアクセスできなくなったり、本製品内のデータが失われる場合があります。ご注意ください。
- ・ここでいう接続の解除とは、アクセスしている機器からのネットワーク接続の解除のことを意味します。ハブなどから物理的に取り外す場合は、以下の作業でネットワーク接続を解除後に、他のユーザーが本製品にアクセスしていないことを確認してから取り外してください。

接続解除手順

LHD-LU2 管理ツールのポップアップメニューから、接続を解除するディスクを選択し、展開されるサブメニューより「接続解除」を選択します。



警告のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

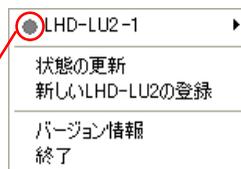


ポイント

- ・本製品内のデータにアクセスが行なわれているときは、接続は解除されません。
- ・何度接続の解除を行なっても上手く行かない場合は、パソコンを再起動してみてください。

接続が解除されると、登録名横の印が灰色で表示されます。

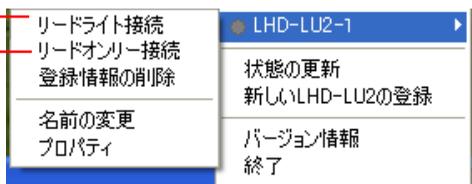
この部分が灰色で表示されます。



再接続について

本製品へ再接続する場合は、LHD-LU2管理ツールのポップアップメニューから、再接続したい機器を選択し、展開されるサブメニューより「リードライト接続」または「リードオンリー接続」を選択します。

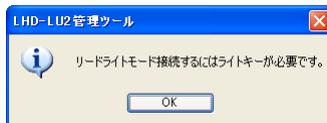
接続形式を選択



Point ポイント

いったん接続を解除すると、再接続を行なうときに、「読み込み/書き込み可能」か「読み込み専用」かを選択することができます。ただし、登録時にライトキーを入力していない場合、「読み込み/書き込み可能」で接続しようとする、以下のメッセージが表示されます。

ここで、「OK」ボタンをクリックして、その後に表示される「名前の変更」画面で、ライトキーを入力し「OK」ボタンをクリックすると、「リードライトモード」で接続することができます。

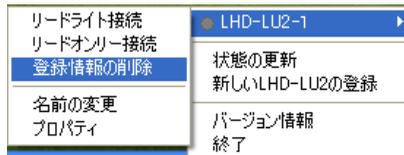


2.3.4 登録情報の削除

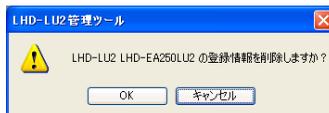
ご使用のパソコンから、登録情報を削除する場合は、以下の手順をご参照ください。

「2.3.3 ネットワーク接続の解除/再接続について」の「接続解除手順」を参照し、本製品の接続を解除します。

LHD-LU2管理ツールのポップアップメニューから、削除したい機器を選択し、展開されるサブメニューより「登録情報の削除」を選択します。

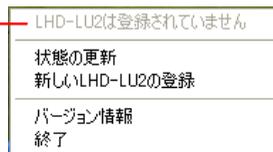


警告のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



登録情報が削除されます。

この部分から名前が削除されます。



Point ポイント

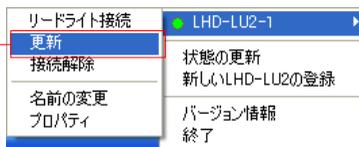
登録情報を削除すると、本製品へは全くアクセスできなくなります。いったん登録情報を削除した後に、また、ネットワーク経由で接続したい場合は「2.2 パソコンからアクセスする」を参照して再度、本製品を登録しなおしてください。

2 . 3 . 5 補足事項

リードオンリーモードでのアクセスについて

「リードオンリーモード」でディスクにアクセスしている場合、ドライブ内の情報が更新されても、自動的にには最新の状態に更新されません。そのような場合は、LHD-LU2 管理ツールのポップアップメニューから、状態の更新を行ないたいディスクの登録名を選択し、展開されるメニューから、「更新」を選択してください（このメニューは、接続が解除されている状態では表示されません）。

この部分をクリックすることにより、最新の状態に更新されます。

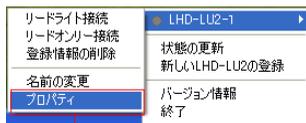


ご注意

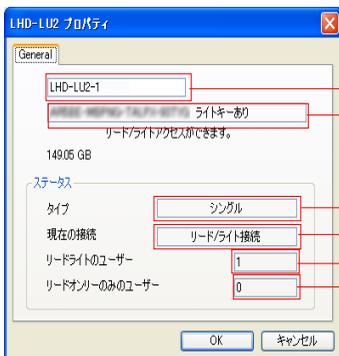
- ・更新は、一度接続を解除して行ないますので、ファイルなどが開かれている場合は閉じてから行なってください。
- ・リードオンリー接続で使用している場合、本装置よりファイルをコピーする場合、一度「更新」を行って最新の情報に変更してから、ファイルのコピーを行ってください。「更新」を行わない場合、表示されているファイルの情報が古い場合があります。

プロパティ画面について

LHD-LU2 管理ツールから、登録されているディスクを選択し、「プロパティ」を選択すると、以下の画面が表示され、ディスクの情報を確認することができます。



「プロパティ」を選択



このコンピュータに登録されている名前が表示されます

アクセスキーと、ライトキーの入力状態が確認できます

ディスクの使用状態「シングル」「アグリゲーション」「ミラーリング」が確認できます

ご使用のパソコンからの接続状態が確認できます

「リードライトモード」で接続しているユーザー数を表示します。

「リードオンリーモード」権限で接続しているユーザー数を表示します。

2.4 高度な設定について

ここでは、本製品と同じLHD-LU2シリーズを2台以上ネットワークに接続した場合に実行可能な、アグリゲーション、ミラーリングの設定方法についてご説明いたします。

アグリゲーションとは、2台のLHD-LU2シリーズを1つのボリュームとして使用することが可能になる機能です。大容量のデータを扱う場合等に便利です。**ただし、片方のディスクに障害が発生した場合はデータは保護されません。**

ミラーリングとは片方のハードディスクからもう片方のハードディスクへデータのコピーを行なう機能です。1台のハードディスクにハードウェア上の不具合が発生した場合でも、もう1台のハードディスクに同じ内容が保存されているため、データが失われないという利点があります。

ただし、ミラーリングを行なっている場合でも、2台のディスクが同時にクラッシュした場合はデータの保護はされません。データは定期的に別のディスクへバックアップするようにしてください。



重要なお注意：設定の前に必ずご確認ください

- アグリゲーション、ミラーリングで使用する場合、アクセス時には、必ず、常に設定した2台のディスクの電源がONの状態、LANケーブルを使用してネットワークに接続しておいてください。設定後に、どちらか一方のディスクの電源がOFFになったり、ネットワークから物理的に外されたりすると、設定が無効となりディスクにアクセスできなくなります。
アグリゲーションで運用している場合は、全てのデータが使用不可能になりますので、運用には十分ご注意ください。
 - 無線LAN環境下では、アグリゲーション、ミラーリング機能は使用できません。アグリゲーション、ミラーリング機能を使用する場合には、コンピュータと装置間をLANケーブル（有線）にて接続を行ってください。
 - 設定後に片方のLHD-LU2シリーズを単体でUSB接続したりするとデータが破損します。絶対に行なわないでください。
-

2.4.1 設定の前に

設定を行なう前に、以下の点をご確認ください。

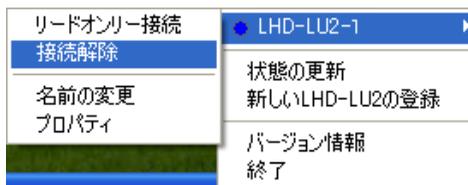
1. 複数のLHD-LU2シリーズが同一ネットワーク内に接続され、設定を行なうパソコンに登録済みであること。

2台目以降のLHD-LU2シリーズの登録手順も、1台目の物と同じとなります。「2.2 パソコンからアクセスする」をご参照ください。また、2台目以降の登録には、ソフトウェアを新たにインストールする必要はありません。

設定を行なうLHD-LU2シリーズは、必ず「ライトキー」を入力して登録されていなければなりません。

2. アグリゲーション、ミラーリングに設定するLHD-LU2シリーズの接続が解除されていること。

LHD-LU2シリーズが、パソコンと接続されている状態では設定を行なうことができません。「2.3.3 ネットワーク接続の解除/再接続について」をご参照の上、設定を行なうLHD-LU2シリーズの接続を解除しておいてください。



3. データのバックアップが終わっていること。

アグリゲーション、ミラーリングの設定を行なうと、ハードディスク内の情報は全て消去されます。設定前にハードディスク内にデータを保存していた場合は、別の場所にバックアップしておいてください。



重要！ ミラーリングの際のご注意

- ・本製品を使用して行なうミラーリングは、ホットスワップ（機器を稼働させた状態でのディスクの交換）には対応しておりません。一方のディスクに障害が発生した場合は、マイコンピュータ上からアクセスできなくなります。この場合、ディスクをの設定を解除し、データを別の場所に移動させた後に、再度設定する必要があります。この操作を行なわないで、正常に稼働していたディスクを別のディスクと結合すると、データが全て失われますので、ご注意ください。詳しくは「2 . 4 . 4 ディスクに障害が発生した場合」をご参照ください。
 - ・ミラーリングを行なっている場合でも、誤操作やソフトウェア的な障害によるデータの消失を防止できるものではありません。データの定期的なバックアップが重要であることには変わりはありません。
 - ・ミラーリングを行なう場合、マスターとなるディスクよりも容量の少ないLHD-LU2シリーズをスレーブには設定できません。
-

2.4.2 設定手順

アグリゲーション/ミラーリング共に、設定の手順は同じになります。以下をご参照ください。

「スタート」 - 「プログラム」(Windows XPの場合は全てのプログラム) - 「Logitech」 - 「LHD-LU2」 - 「LHD-LU2 アグリゲーション & ミラーリング」と選択してください。以下の画面が表示されます。



ここでディスクのアイコンが1つしか表示されていない場合は、設定を行なえません。

また、複数表示されている場合でも、使用中のディスクや既に設定済みのディスクは使用できません。設定を行なうディスクは必ずあらかじめ接続を解除しておいてください。



参考

上の画面で表示されるディスクのアイコンは、色により、以下のような意味があります。

- 青色 アグリゲーションまたはミラーリングディスクで「リードライトモード」
- 緑色 アグリゲーションまたはミラーリングディスクで「リードオンリーモード」
- 赤色 - LHD-LU2 シリーズ以外のディスク (使用不可)
- 灰色 - 接続解除済みディスク
- 白色 - 他のユーザーが使用中のディスク
- 黒色 - パソコンには登録済みで、ネットワークに接続されていないディスクまたは障害のあるディスク
- 黄色 - アグリゲーションまたはミラーリングでスレープに設定されているディスク

設定を行なうディスクをクリックして選択状態にしてください。
ここで選択したディスクは、マスターディスクとして設定されます。



アグリゲーションを行なう場合は、「アグリゲーション」ボタンを、ミラーリングを行なう場合は「ミラーリング」ボタンをクリックしてください。



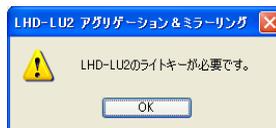
アグリゲーションを行なう場合

ミラーリングを行なう場合

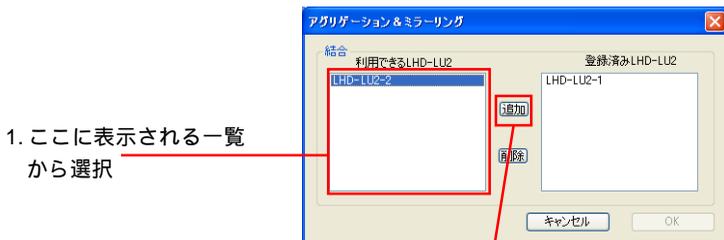


参考

選択したディスク登録時にライトキーを入力していないと右のメッセージが表示され、次の手順に進めません。「OK」をクリックして、いったんプログラムを終了して、使用するディスクに、ライトキーを入力し、権限を「読み込み/書き込み可能」に設定し直してください。詳しくは「2.3.2 アクセス権限の変更」をご参照ください。



以下の画面が表示されます。もう一つのディスクを左側の一覧から選択し、「追加」ボタンをクリックしてください。



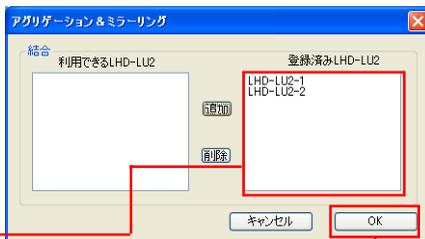
1. ここに表示される一覧から選択

2. クリック

ここで選択したディスク登録時にライトキーを入力していない場合も次の手順には進めません。「キャンセル」ボタンをクリックして、いったんプログラムを終了し、「2.3.2 アクセス権限の変更」をご参照の上、ライトキーを入力して設定をやり直してください。

右のように右側にディスクが登録されたら、「OK」ボタンをクリックしてください。2つのディスクが結合されます。次ページを参照し、結果を確認してください。

1. ここにディスクが登録されたことを確認

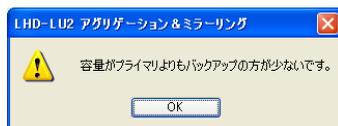


2. 「OK」をクリック



ミラーリングに設定した場合

- ミラーリングに設定した場合、右のメッセージが表示されます。次ページで結果を確認後、「フォーマットについて」を参照して、ディスクのフォーマットを行なってください。
- また、右のメッセージが表示される場合は、スレーブのディスクが、マスターディスクよりも容量が多いことが考えられます。容量をご確認の上再度選択しなおしてください。



結果の確認

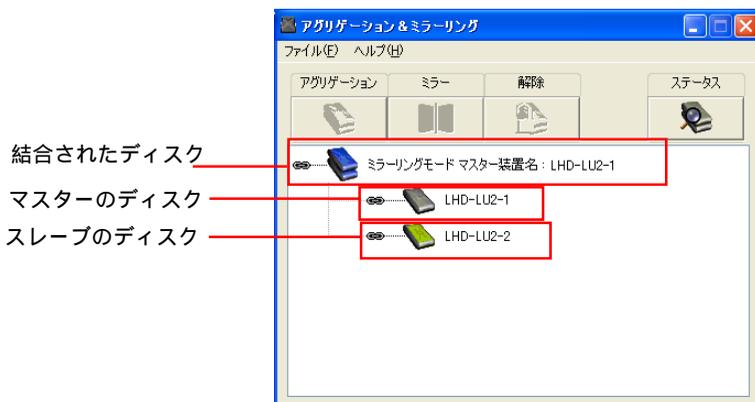
アグリゲーションで設定した場合

この場合、以下の画面が表示されます。結合されたディスクは「アグリゲーションモード マスター装置名: マスターのディスク名」となります。確認後、次ページへお進みください。



ミラーリングで設定した場合

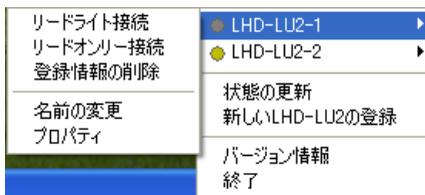
この場合、以下の画面が表示されます。「ミラーリングモード マスター装置名: マスターのディスク名」となります。確認後、次ページにお進みください。



データはマスターディスクに書き込まれ、スレーブのディスクにミラーリングされます。

共通

結合されていることを確認したら、LHD-LU2管理ツールのポップアップメニューからマスターとして設定されたディスクの登録名をクリックして、「リードライト接続」をクリックしてください。



マスターとして登録されたディスクのアイコンと登録名横の印が青色に表示されたら新しい設定で、コンピュータ上から認識されます。この後は以下をご参照ください。

アグリゲーションで設定した場合

アグリゲーションで設定した場合、マイコンピュータ上からアクセスすると記憶領域が2つのパーティションに分かれて表示されますが、後の方の記憶領域はスレーブディスクの領域で、フォーマットが必要です。

はじめの方の記憶領域がマスターディスクの領域で、この部分はフォーマットをしなくてもそのままご使用になれます。

また、このパーティションを削除して、1つの領域で再フォーマットしてご使用になることも可能です。

ミラーリングで設定した場合

ミラーリングで設定した場合は、まだ、マイコンピュータ上からアクセスすることはできません。フォーマットを行なってください。



ご注意

既にアグリゲーション/ミラーリング設定済みのものは、再度別のディスクと組み合わせることはできません。



ポイント

フォーマット方法については「フォーマットについて」をご参照ください。

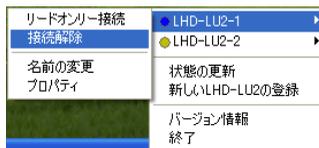
2 . 4 . 3 設定の解除

アグリゲーションやミラーリングの設定を解除するには以下の手順をご参照ください。

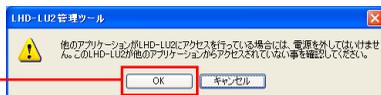
重要なご注意

アグリゲーションで使用していた場合は、設定を解除すると、それまでに保存されていたデータは全て削除されます。重要なデータは必ず別の場所に保存しなおしておいてください。

LHD-LU2 管理ツールのポップアップメニューから、設定を解除するディスクのマスター側の登録名を選択し、展開されるサブメニューより「接続解除」を選択します。既に接続を解除済みの場合は、手順へお進みください。



警告のメッセージが表示されます。内部のデータが消去されても構わないことを確認して、「OK」ボタンをクリックしてください。

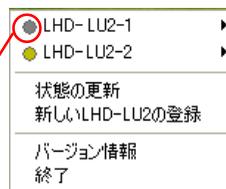


ご注意

- ・データにアクセスが行なわれているときは、接続は解除されません。
- ・何度接続の解除を行なっても上手く行かない場合は、パソコンを再起動してみてください。

登録名横の印が灰色で表示されたことを確認してください。

この部分が灰色で表示されます。



「スタート」 - 「プログラム」(Windows XPの場合は全てのプログラム) - 「LHD-LU2」 - 「LHD-LU2 アグリゲーション&ミラーリング」と選択し、以下の画面が表示されたら、設定を解除する結合されたディスクを選択し、「解除」ボタンをクリックしてください。

1. 設定を解除する結合ディスク
を選択

2. 「解除」ボタンをクリック



結合されたディスクは、2つの別々のディスクに戻ります。



この後は、LHD-LU2管理ツールのポップアップメニューからそれぞれのディスクを「リードライト接続」または「リードオンリー接続」でコンピュータと接続し直し、再フォーマットを行なってご使用ください。

2.4.4 ディスクに障害が発生した場合

設定したディスクのどちらかに障害が発生した場合や片方のディスクの電源を入れ忘れたりネットワークに接続し忘れた場合、そのディスクへはアクセスができなくなります。この場合は、「2.4.3 設定の解除」をご参照の上、結合を解除してください。

アグリゲーションでご使用になっていた場合は、データは全て消去されます。結合の解除後は、正常なディスクのみ、再フォーマットして使用可能です。

ミラーリングでご使用になっていた場合は、結合を解除すると、正常なディスクにデータが残っています。正常なディスクは、マイコンピュータ上からローカルディスク（ボリューム）としてアクセスすることができます。ただし、既にミラーリングは行なわれていません。

このデータをもとに再度ミラーリングを行ないたい場合は、いったんデータを全て別の場所に保存しなおしてから、新たに、別のディスクと正常なディスクでミラーリング設定をやり直し、フォーマット後にデータを上書きしてご使用ください。

Point ポイント

障害が発生した側のディスクは、黒色で表示されます。もし、そのディスクが、電源を入れ忘れたりLANケーブルを使用してネットワークに接続されていない状態である場合は、電源投入後ネットワークに接続し、パソコンを再起動すると、使用可能になります。ただし、その場合でも、アグリゲーションやミラーリングとして設定されていた情報は無効となります。いったん結合を解除して、再度必要に応じて新しく設定しなおす必要があります。

2.4.5 ソフトウェアのアンインストール



ご注意

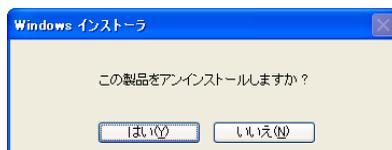
ソフトウェアをアンインストールすると、登録されている全てのディスクにネットワーク経由でアクセスすることができなくなります。

アンインストール手順

ソフトウェアをアンインストールする前に、使用している全てのアプリケーションを終了させておいてください。また、タスクトレイに常駐しているLHD-LU2管理ツール  をクリックし、ポップアップメニューから「終了」を選択して終了させておいてください。「LHD-LU2 アグリゲーション&ミラーリング」が起動している場合は、これも終了させておきます。

以上の点を確認したら、「スタート」-「プログラム」(Windows XPの場合は「全てのプログラム」)-「Logitech」-「LHD-LU2 管理ツール」-「LHD-LU2 アンインストール」と選択してください。

右の画面が表示されます。「はい」をクリックしてください。



アンインストールが実行されます。

1 . 接続の際の注意

LAN 接続でご使用の場合、ハブ経由でも、パソコンの LAN ポートに直接接続しても、本製品へのアクセスは可能です。ただし、Macintosh 環境の場合は、「ミラーリング」「アグリゲーション」といった高度な設定を行うことはできません。

ハブに接続する場合

ハブに接続する場合は、付属の LAN ケーブル(ストレートタイプ)をご使用ください。

Macintosh クライアントと Windows クライアントが本製品を共有して使用することはできません。Windows クライアントでご使用になる場合は、「LAN で接続する場合 - Windows 編」をご参照ください。

パソコンの LAN ポートに直接接続する場合

パソコンの LAN ポートに直接接続してご使用になる場合は、**別途クロスタイプの LAN ケーブルが必要となります。**

接続手順は製品に付属の「**クイックスタートガイド**」を参照してください。

パソコンの LAN ポートに直接接続する場合は、接続先がハブではなく、パソコンの LAN ポートとなります)

いずれの場合も、付属の CD-ROM よりソフトウェアをインストールしてからでないとパソコン側からアクセスすることはできません。「2 . ソフトウェアの使い方」をご参照ください。

2 . ソフトウェア使い方



重要なお注意

Macintosh 環境でご使用の場合、以下のような制限事項がございます。

- ・複数ユーザーが同時にリードライト（書き込み権限）接続を行うことはできません。リードライト（書き込み権限）接続につきましては、1台のみとなります。
- ・アグリゲーション機能、ミラーリング機能はサポートしておりません。
- ・省電力（スリープ）機能はサポートしておりません。

2 . 1 インストール

インストールの前に

事前に製品に付属の「**クイックスタートガイド**」を参照して本製品をハブ等の中継機器へ接続しておいてください。

インストール手順

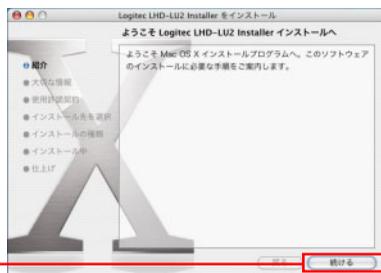
コンピュータの電源がONの状態ですべてCD-ROMドライブに「LHD-LU2ソフトウェアパック」CD-ROMをセットしてください。

CD-ROMのアイコンをダブルクリックして開き、一覧の中から「TOOL」フォルダをダブルクリックしてください。

「TOOL」フォルダ内の「LHD-LU2 Install.mpkg」アイコンをダブルクリックしてください。

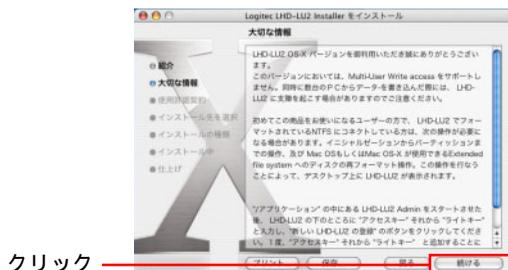


インストーラが起動し、右のウィンドウが表示されます。「続ける」をクリックしてください。

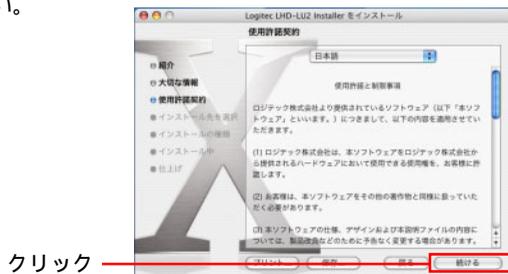


クリック

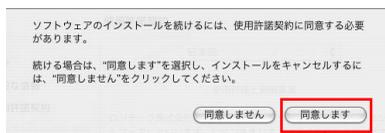
以下のウィンドウが表示されます。「続ける」ボタンをクリックしてください。



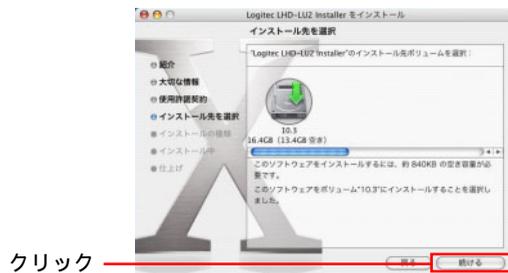
使用許諾契約のウィンドウが表示されます。内容をよく確認し、「続ける」ボタンをクリックしてください。



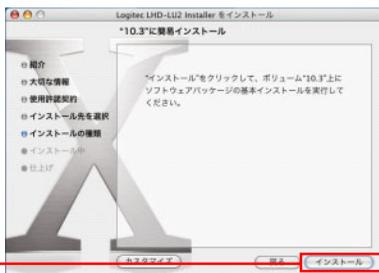
確認のメッセージが表示されます。「同意します」ボタンをクリックしてください。



インストール先の選択ウィンドウが表示されます。特に問題のない場合はそのまま「続ける」ボタンをクリックしてください。



以下のウィンドウが表示されます。「インストール」ボタンをクリックしてください。



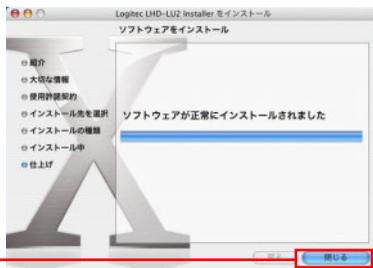
以下のウィンドウが表示されます。管理者として登録されているユーザーの「名前」と「パスワード」を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。

1. ユーザー名とパスワードを入力

2. クリック



インストールが実行され、終了すると以下のウィンドウが表示されます。「閉じる」ボタンをクリックして、コンピュータを再起動させてください。



以上でソフトウェアのインストールは終了です。

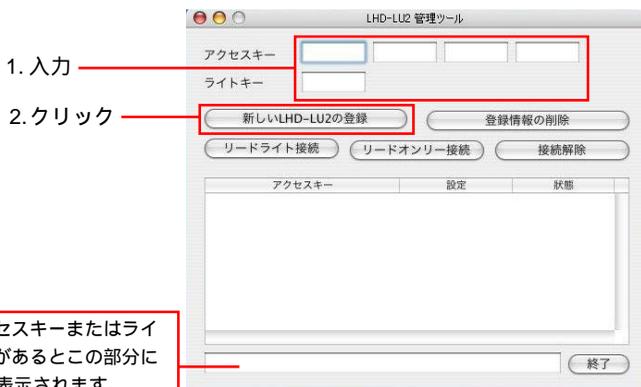
2 . 2 コンピュータからアクセスする

本製品にLAN経由でアクセスする場合、インストールしたソフトウェアを使用し以下の手順で本製品を登録します。(はじめにこの作業を行わなければ、本製品にアクセスすることができません)

はじめに、起動ドライブ内の「アプリケーション」を開き、「LHD-LU2 管理ツール」をダブルクリックしてください。



以下のウィンドウが表示されますので、「アクセスキー」「ライトキー」を入力して、「新しいLHD-LU2の登録」ボタンをクリックしてください。



入力項目については次ページをご参照ください。

入力項目について

アクセスキー

同梱のシールに記載されているアクセスキーを入力してください。
アクセスキーは必ず入力しなければなりません。

ライトキー

同梱のシールに記載されているライトキーを入力してください。
ライトキーを入力して「新しいLHD-LU2の登録」ボタンをクリックすると、本製品へのアクセス権限は「リードライト接続」(読み込み/書き込み可能)に設定されます。

ライトキーを入力せずに「新しいLHD-LU2の登録」ボタンをクリックすると、本製品へのアクセス権限は「リードオンリー接続」(読み込み専用)に設定されます。

正しいキーを入力して登録が完了するとデスクトップ上に右のようなアイコンがマウントされます。
本製品へのアクセスはこのアイコンをダブルクリックして行います。



ただし、Macintosh環境では初回の登録後に、装置の初期化(フォーマット)を行わなくては本製品を使用することはできません。「フォーマットについて」を参照して装置の初期化を行ってください。

既にMacintosh上でフォーマット済みの場合は、再度フォーマットをする必要はありません。

2.3 接続の解除について

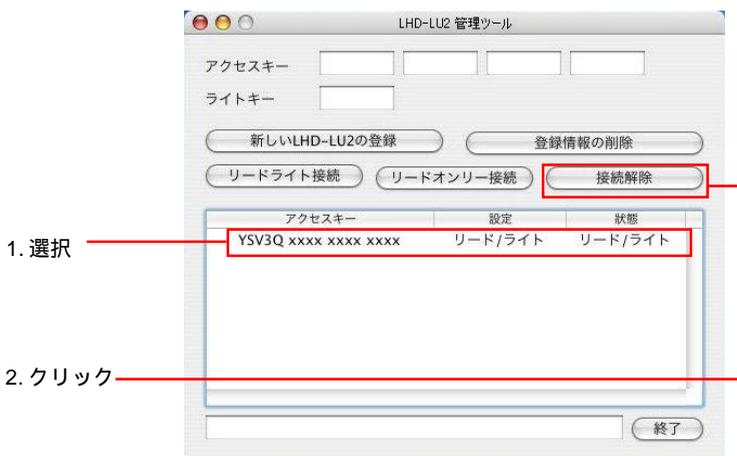


ご注意

- ・正しい手順で接続の解除を行なわないと、他のユーザーがアクセスできなくなったり、本製品内のデータが失われる場合があります。ご注意ください。
- ・ここでいう接続の解除とは、アクセスしている機器からのネットワーク接続の解除のことを意味します。ハブなどから物理的に取り外す場合は、以下の作業でネットワーク接続を解除後に、他のユーザーが本製品にアクセスしていないことを確認してから取り外してください。

接続を解除するには、はじめにデスクトップにマウントされている本製品のドライブアイコンをゴミ箱に入れてください。

次に、「LHD-LU2 管理ツール」ウィンドウを起動して、一覧の中から解除を行いたい装置のアクセスキーを選択し、「接続解除」ボタンをクリックしてください。



Point

ポイント

- ・本製品内のデータにアクセスが行なわれているときは、接続は解除されません。
- ・何度接続の解除を行なっても上手く行かない場合は、コンピュータを再起動してみてください。

2.4 「LHD-LU2 管理ツール」の機能について

本製品の登録や設定変更などはすべて「LHD-LU2 管理ツール」ウィンドウより行います。ここでは「LHD-LU2 管理ツール」ウィンドウ内の各項目の機能についてご説明いたします。



アクセスキー

製品に同梱のシールに記載されているアクセスキーを入力してください。アクセスキーは必ず入力しなければなりません。

ライトキー

製品に同梱のシールに記載されているライトキーを入力してください。

ライトキーを入力して「新しいLHD-LU2の登録」ボタンをクリックすると、本製品へのアクセス権限は「リードライト接続」(読み込み/書き込み可能)に設定されます。

ライトキーを入力せずに「新しいLHD-LU2の登録」ボタンをクリックすると、本製品へのアクセス権限は「リードオンリー接続」(読み込み専用)に設定されます。

シールに記載されているアクセスキー/ライトキーは、装置に固有のものです。複数のLHD-LU2シリーズをご使用になる場合、同じアクセスキーで装置を登録することはできません。

「新しいLHD-LU2の登録」ボタン

新規にLHD-LU2シリーズをネットワークに接続し、アクセスキーとライトキーを入力してからこのボタンを押すと、機器が登録され、デスクトップ上にマウントされ、アクセスできるようになります。

ライトキーを入力しなくても登録可能ですが、その場合は読み込み専用(リードオンリー)でのアクセスになります。

「登録情報の削除」ボタン

登録済みの装置を選択してから、このボタンをクリックすると、「LHD-LU2 管理ツール」より、その装置の登録が削除されます。この場合、再登録をしなければその装置へのアクセスはできません。

接続解除(アンマウント)のみ行いたい場合は、「接続解除」ボタンを使用してください。

「リードライト接続」ボタン

登録されている装置へ「書き込み可能(リードライト)」権限にて接続します。一覧から登録済みの装置のアクセスキーを選択してから、このボタンをクリックしてください。

Macintosh環境では、ネットワーク経由で複数のコンピュータで共有して装置をご使用になる場合、装置へ「書き込み可能(リードライト)」権限でアクセスできるのは一度に1台のパソコンのみです。他のユーザーは「書き込み可能(リードライト)」権限でアクセスしているユーザーが接続を解除するまで「読み込み専用(リードオンリー)」権限でのアクセスになります。

「リードオンリー接続」ボタン

登録している装置へ「読み込み専用(リードオンリー)」権限にて接続します。一覧から登録済みの装置のアクセスキーを選択してから、このボタンをクリックしてください。

「接続解除」ボタン

登録している装置の接続を解除(アンマウント)します。接続を解除する装置のアクセスキーを選択してから、このボタンをクリックしてください。

アクセスキー一覧

現在登録されている装置のアクセスキー、設定、接続状態が一覧表示されます。セキュリティ上、アクセスキーは登録されている装置の上5桁しか表示されません。「LHD-LU2管理ツール」上で装置に対して操作を行う場合は、一覧に表示されているアクセスキーで機器を選択してください。

1 接続の際の注意

接続手順および、注意事項については製品に付属の「クイックスタートガイド」をご参照ください。

Point

ポイント

- ・ Macintosh 環境でご使用の場合は、接続後に本製品をフォーマットして使用する必要があります。ご使用前に「フォーマットについて」をご参照ください。
- ・ Windows 環境でご使用の場合、本製品は出荷時に NTFS にてフォーマットされていますので、接続後そのままご使用になることができます。本製品を再フォーマットしてご使用になりたい場合は、「フォーマットについて」をご参照ください。



参考

ご使用のパソコンに USB 2.0 インターフェイスボードまたは USB 2.0 インターフェイスカードを増設する場合は、「オプション品について」をご参照ください。

2 USB 接続時の取り外しについて

USB 接続でご使用の場合は、本製品の取り外しは以下の手順にて行ってください。

Windows 環境での取り外し手順

本製品に保存されたアプリケーションやデータファイルが開いていないことを確認します。

タスクトレイ上の右のアイコンを右クリックします。



表示される以下の項目をクリックします。

Windows XP の場合

- ・「USB 大容量記憶装置デバイス ドライブ (d:) を安全に取り外します」

Windows 2000 の場合

- ・「USB 大容量記憶装置デバイス ドライブ (d:) を停止します」

Point

ポイント

ここで (d:) は本製品のドライブ名ですので、環境によって異なります。

Windows XPでは本製品を取り外すことのできる旨のメッセージが表示されたら取り外しが可能となります。(このメッセージはしばらくすると自動的に消えますので特に操作する必要はありません。)

Windows 2000でも本製品を取り外すことのできる旨のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

電源スイッチをOFFにしてUSBケーブルとACアダプタを取り外してください。

以上で取り外し作業は終了です。

Macintosh 環境の場合

本製品を取り外す前に必ずアンマウントという処理を行います。アンマウントは以下のいずれかの方法で行います。

- ・本製品のアイコンをゴミ箱のアイコンに重ねる。
- ・本製品のアイコンを 1 回クリックして選択状態にし、「ファイル」メニューから「片付ける」を選択する。
- ・本製品のアイコンを 1 回クリックして選択状態にし、アップルキー + 「Y」キーを押す。

パソコン本体がスリープ状態になっているときは、取り外しを行わないでください。

本製品に保存されているアプリケーションやデータファイルが開かれていないことを確認してください。

フォーマットについて

1 . Windows XP、2000 の場合

本製品のフォーマットはWindows XP、2000に標準のユーティリティ「ディスク管理」から行います。

ディスク管理を起動するには管理者権限をもつユーザー(例えば「コンピュータの管理者」や「Administrators」グループ)としてログオンした後に、「マイコンピュータ」を右クリックし、表示されるメニューから「管理」を選択します。

「コンピュータの管理」ウィンドウが表示されるので、コンソールツリー上で「ディスクの管理」をクリックしてください。(ここで「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」が起動した場合は、キャンセルボタンをクリックしてください)。

「ディスク管理」からのフォーマット方法についてはWindowsのヘルプファイルをご参照ください。

Point

ポイント

- ・アグリゲーション機能にて設定を行なったディスクの場合、ディスクの管理画面で2つのパーティションに分かれて表示されます。連結したディスクを1つのパーティションでご使用になる場合は、はじめにパーティションの削除を行なってください。2つのパーティションのままご使用になる場合は、はじめの方のパーティションは、特にフォーマットする必要はありません。後ろにあるほうの「未割り当て」と表示されている論理ドライブのみ、フォーマットしてください。
 - ・ネットワーク経由でアクセスしているディスクは、「コンピュータの管理」ウィンドウでは、オンラインと表示されます。
-

2 . Mac OS X の場合

本製品のフォーマットは「ディスクユーティリティ」を使用します。

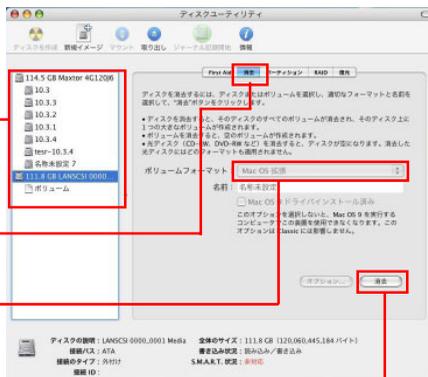
フォーマット手順

メニューバーの「移動」から「アプリケーション」を選択して「アプリケーション」「ユーティリティ」「ディスクユーティリティ」を選択してください。初めて本製品を接続した場合、「今セットしたディスクはMac OS Xで読み込めないボリュームが含まれています。」というメッセージボックスが表示されるので、ここで「初期化」ボタンをクリックしてもディスクユーティリティが起動します。

ディスクユーティリティが起動しますので、フォーマットを行う装置を選択して、「消去」タブをクリックし、ボリュームフォーマットの欄で「Mac OS 拡張」を選択して「消去」ボタンをクリックしてください。

「Mac OS 拡張(ジャーナリング)」は不可。ネットワークでアクセスできなくなる場合があります。

1. 装置を選択
2. 「消去」タブをクリック
3. 「Mac OS 拡張」を選択
4. 「消去」ボタンをクリック



確認のメッセージボックスが表示されるので、消去ボタンをクリックしてください。フォーマットが実行されます。フォーマットが終了すると右のアイコンがデスクトップにマウントされます。



Point

ポイント

Mac OS でフォーマット（初期化）する場合は必ず Mac OS 拡張を選択するようにしてください。「Mac OS 標準」は旧 Mac と互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。

1 共通

本製品を接続したが認識されない。

- AC アダプタを接続したコンセントの状態を確認してください。
- ケーブルの接続に接触不良などがどうか確認してください。
- 本製品を USB ハブ経由で接続している場合は、パソコンの USB ポートに本製品だけを直接接続して試してみてください。
- ネットワーク経由で接続をしている場合、以下の点をご確認ください。
 - ・登録を正しく行なっていますか？
 - ・ご使用のパソコンと同一セグメント上にあることを確認してください。
- アグリゲーションまたはミラーリングに設定してご使用の場合、登録後、LHD-LU2 管理ツールのメニューより再接続する必要があります。

スリープ状態から復帰できない。

本製品はスリープ (サスペンド) 機能をサポートしておりません。スリープ (サスペンド) 機能を OFF にしてご使用ください。

- ・ Windows 2000 で省電力機能を OFF にするには、「コントロールパネル」 「電源オプション」を起動します。「電源設定」のウィンドウが表示されたら、「システムスタンバイ」を「なし」にして、OK ボタンをクリックしてください。
- ・ Windows XP で省電力機能を OFF にするには、「コントロールパネル」 「パフォーマンスとメンテナンス」 「電源オプション」を起動します。「電源設定」のウィンドウが表示されたら、「システムスタンバイ」を「なし」にして、OK ボタンをクリックしてください。
- ・ Mac OS X で省電力機能を OFF にするには、「アップル」メニューから「システム環境設定」をクリックし、「システム環境設定」画面で「省エネルギー」をクリックし「省エネルギー」画面で「スリープ」タブを選択して、「スリープするまでの静止している時間」を「しない」に設定してください。

Windows XP , 2000 で「ディスクの管理」が起動できない。

「ディスクの管理」を起動するには、管理者権限を持つユーザー (例えば「コンピュータの管理者」や「Administrator」等) としてログオンしていなければなりません。

本製品の物理フォーマットができない。

本製品は物理フォーマットをサポートしていません。論理フォーマット（通常のフォーマット）のみでご使用ください。

データの転送速度が遅い。

USB 接続の場合、USB 2.0 のポートに正しく接続されていますか？

USB 1.1 のポートに接続されている場合、データの転送速度は Full-Speed(12Mbps) までとなります。High-Speed (480Mbps) でデータ転送を行うには USB 2.0 ポートにつなぎかえてください。

パソコン本体に USB 2.0 ポートがない場合は別売りの USB 2.0 インターフェイスボード（PCI 用インターフェイスボード、もしくは CardBus 対応 USB 2.0 インターフェイスカード）を接続してドライバのインストールを行ってから、接続しなおしてみてください。

Windows 環境の場合、複数のパソコンから「リードライトモード」で接続している場合、データ転送が遅くなることがあります。データの書込みを行わない場合には、「リードオンリーモード」に設定してご使用ください。

特定のソフトウェア（ディスク修復ツールなど）で
本製品を使用できない。

一部のユーティリティソフトウェアでは、USB のようなホットプラグ対応のインターフェイスで接続したハードディスクを動作対象としていない場合があります。ソフトウェアメーカーに問い合わせ、そのソフトウェアが USB 接続のハードディスクを動作対象としているかどうかを確認してください。

2 LAN 接続の際のトラブル

Windows 2000 でドライバのインストール時、

「Microsoft デジタル署名」から先に進めない。

Windows 2000 の「ドライバ署名オプション」が初期状態から書きかえられていると、このような現象が発生します。

「ドライバ署名オプション」を「ブロック」から「警告」へ変更することによりこの現象を回避することができます。

この設定は「コントロールパネル」 「システム」 「ハードウェア」タブ 「ドライバの署名」ボタンで変更できますが、システム管理者によってこの設定が行われている場合は、システム管理者にご相談ください。

Windows XP でドライバのインストール時、

「ハードウェアのインストール」から先に進めない。

Windows XP の「ドライバ署名オプション」が初期状態から書きかえられていると、このような現象が発生します。

「ドライバ署名オプション」を「ブロック」から「警告」へ変更することによりこの現象を回避することができます。

ドライバ署名オプションは、「スタート」ボタン 「マイコンピュータ」を右クリック 「プロパティ」 「システムのプロパティ」ウィンドウ 「ハードウェア」タブ 「ドライバの署名」ボタンで表示することができます。

ドライバのインストールができない

ご使用のパソコンへは管理者権限をもつユーザー（「コンピュータの管理者」や「Administrator」等）としてログインしていますか？ドライバのインストールや本製品へのアクセスは、管理者権限のあるユーザーとしてログインしている必要があります。

アンチウィルスソフトやパーソナルファイアーウォール機能が働いていると、インストールできない場合があります。いったんこれらの機能を無効にしてインストールを行ってください。なお、インストール後は再度それらの機能を有効にすることを忘れないでください。

システム上に常駐するプログラムが機能している場合、インストールができない場合があります。いったんタスクトレイ上に常駐しているプログラムを終了してインストールを行ってください。また、使用していないアプリケーションなどは、システムからアンインストールしてください。

リードオンリー接続でアクセス時にファイルのコピーができない

リードライト接続しているコンピュータにてファイルが削除されている可能性があります。「LHD-LU2 管理ツール」-「本装置の名前」-「更新」を行い、最新の情報にしてファイルがあるかご確認ください。

リードライト接続のコンピュータにてファイルが使用されている 場合ファイルのコピーができない場合があります。しばらくしてもう一度ファイルのコピーをお試しく下さい。

装置との接続が不安定になる

装置が切断されてしまう場合、コンピュータと装置との通信経路に問題が発生している場合があります。以下の点をご確認ください。

- ・ 接続に使用している LAN ケーブルは付属の物、またはエンハンスト カテゴリ 5 以上の物をお使いください。
- ・ ハブは スイッチングハブをお使いください。(ダムハブ、DualSpeed ハブでは、ハブにより正常に動作できない場合があります。)
(複数のハブを介して接続されている場合には、コンピュータと同一のハブに接続して頂きお試しください)
- ・ LAN ケーブルを自作されている場合には、コネクタ部分で接続不良が発生している場合がありますので、市販のエンハンストカテゴリ 5 またはカテゴリ 6 のケーブルにてお試しください。
- ・ LAN ドライバのバージョンによりデータ転送が不安定な場合があります。最新のドライバが公開されている場合には最新のドライバでお試しく下さい。

なお、コンピュータにより入手先やインストール方法が異なりますので、詳しくはコンピュータメーカー様にお問い合わせください。

- ・ コンピュータ本体や他の周辺機器のドライバのバージョンにより、LAN 自体が不安定になってしまう場合もあります。コンピュータ本体や他の周辺機器用のドライバで新しいバージョンが公開されている場合には、最新のバージョンのドライバでお試しく下さい。

なお、コンピュータにより入手先やインストール方法が異なりますので、詳しくはコンピュータメーカー様にお問い合わせください。

- ・ クロスケーブルにて直接パソコンと接続を行い、安定して動作可能かお試しください。(クロスケーブルで接続を行った際、安定して動作できる場合、ハブや LAN ケーブルを別の物で再度お試しください。)
- ・ 複数の周辺機器が接続されているタップに接続している場合、別のタップから電源を取るようにしてください。

リードオンリー接続のコンピュータでアクセスすると、リードライト接続のコンピュータより書き込んだファイルが無い、または、内容が更新されていない。

リードオンリー接続をしているコンピュータ内の情報は、リードオンリー接続を行った時点の情報です。

- ・ Windows 環境では、「LHD-LU2 管理ツール」-「本装置の名前」-「更新」を行い、最新の情報に更新してご確認ください。
- ・ Mcintosh 環境では、「LHD-LU2 管理ツール」より、いったん接続を解除して、再接続してみてください。

リードライトモードにて認識できない

ライトキーの登録は行っていますか？行っていない場合、ライトキーの登録を行ってください。

Windows 環境の場合、LHD-LU2 管理ツールのバージョンが最新のものであるかどうかをご確認ください。

- ・ LHD-LU2 管理ツールのバージョンが「2.3」の場合、1台のクライアントPCからしか、リードライトモードにて認識することができません。複数のクライアントから同時にリードライトモードにて認識させるためには、LHD-LU2 管理ツールのバージョンが「3.4」以降のものをご使用ください。最新のバージョンのものは弊社ホームページよりダウンロード可能です。
- ・ ネットワーク上に LHD-LU2 管理ツールのバージョンが「2.3」のクライアントが存在しリードライトモードで接続している場合、ご使用のパソコンにインストールされている管理ツールのバージョンが「3.4」以降であっても、リードライトモードでは接続できません。必ずすべてのクライアントの LHD-LU2 管理ツールのバージョンを最新のものに変更しておいてください。

ファイルの書き込みができません

- ・ ファイルの書き込みを行うためには、リードライト権限で接続されている必要があります。
「LHD-LU2 管理ツール」を開き該当する装置をクリックして「プロパティ」を開き、リードライト権限で接続されているか確認を行ってください。
- ・ ファイルの書き込みを行うためにはライトキーが必要です。ライトキーを入力して再度お試しください。

アクセスキーを入力しても、ボタンを押せない (アクティブにならない)

- ・ 入力したアクセスキーが正しくないと、登録ボタンを押す事ができません。入力したアクセスキーをもう一度ご確認ください。(0(ゼロ)とO(オー) 1(イチ)とI(アイ)など)

アプリケーションが正しくインストールできません

- ・ お使いの OS は Windows XP/2000、Mac OS X 10.2.1 以降でしょうか？
(Windows Me/98、Mac OS 9 等には対応しておりません)
- ・ 管理者権限でインストール作業を行っていますか？
管理者権限でない場合には、管理者権限にてログインして頂き、インストールを行ってください。
- ・ アンチウイルスソフトや、システム監視ソフトをインストールされている場合、一度各機能を無効にしてインストールが正しく行われるかお試しください。

アクセスキーを入力しても装置が認識されません

- ・ 装置の電源は入っていますか？
- ・ LAN ケーブルは付属の物をお使い頂いておりますか？
(自作またはカテゴリ 5 以下のケーブルでは認識できない場合があります。)
- ・ ハブは 100BASE-TX 対応の スイッチングハブを使用されていますか？
(ダムハブ、DualSpeed ハブでは、正常に動作できません。)
- ・ ルータを越えてアクセスを行う事はできません。
アクセスルータなどの場合、LAN 側、WAN 側に各々接続されていると認識できません。
- ・ ハブの接続ポートを変更してお試しください。
- ・ セキュリティソフトをインストールされている場合には、一度機能を無効にして、お試しください。セキュリティソフトにより通信ができない場合があります。
- ・ 複数のハブを介して接続されている場合には、コンピュータと同一のハブに接続して頂きお試しください

アクセスキーやライトキーを書いた紙を無くしてしまいました。再発行は可能ですか？

- ・有償となりますが、再発行可能です。詳しくは弊社テクニカルサポートまでご相談願います。お問合せ先は、以下をご参照ください。

お問い合わせ先
〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8 2 6 8
ロジテック株式会社 テクニカルサポート

TEL. 03-5326-3672 (東京)
祝祭日を除く月～金曜日 9:30～12:00、13:00～17:00

間違い電話が多くなっております。お問い合わせの際は番号をよく確認して、上記の番号へおかけください。

その他：弊社ホームページについて

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関する Q&A コーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご利用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitech.co.jp/>

オプション品について

弊社ではUSB 2.0 High-Speed 対応のPCIバス用インターフェースボードやCardBus用インターフェースカードなどを別売のオプション品として取り扱っております。オプション品のお求めは、お買い求めいただいた販売店またはロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」にてお求めください。

ロジテックダイレクトホームページ

<http://www.logitech-direct.jp>

PCIバス用USB 2.0インターフェースボード

型番	バス	備考
LHA- USB2NH	PCI	インターフェースボード単体 Windows、Mac OS X 10.2.8以降対応

CardBus対応USB 2.0インターフェースカード

型番	バス	備考
LPM- CBUSB2HA	CardBus	インターフェースカード単体 Windows、Mac OS X 10.3以降対応

修理依頼書

故障が発生した場合は、下記項目にご記入いただき、製品に添付して修理をご依頼ください。

【製品をお送りいただく際のご注意】

- ・ 検査のために内部データは全て削除されますので、製品内部に保存されているデータは予めバックアップを行った上で弊社へご発送くださいますようお願い申し上げます。
- ・ 本製品は電子精密機器ですので梱包の際に緩衝材を使用するなどの処置を行わないと運送時の衝撃により故障する可能性があります。発送の際は、なるべくご購入時に本製品が梱包されていた外箱および緩衝材等を使用して本製品を梱包しお送りください。
- ・ 修理依頼品を発送する際は、正確な状況把握のために付属品を全て添付するようお願いいたします。
- ・ 弊社ではデータの復旧は行っていません。また、修理期間中の代替機はございません。
- ・ 不良箇所の交換には代替部材を使用する場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・ 発送時の送料は、お客様ご負担にてお願いいたします。

お名前：	
ご住所：〒 -	
電話番号： ()	FAX 番号： ()

製品名：	製造番号：
保証書添付： 有 無	
添付品	

ご依頼内容

(できるだけ詳しくご記入ください：書ききれない場合は別紙へ続けてご記入願います。)

--

ご使用環境	
ご使用パソコン	：
本製品以外の接続機器	：
OS	：